

目次

- [ポート、ポート開放](#)
 - [ポートの定義](#)
 - [ポート開放の定義](#)
 - [ポート番号](#)
- [大まかな手順](#)
- [Windowsファイアウォール](#)
 - [ファイアウォールの例外設定](#)
 - [Windows XP](#)
 - [Windows Vista](#)
- [セキュリティソフトのパーソナルファイアウォール](#)
- [ルータ（ブロードバンドルータ）](#)
- [自己診断](#)
- [ポートの開放がうまくいかない場合](#)
 - [手順1](#)
 - [手順2](#)
 - [手順3](#)
 - [A](#)
 - [B](#)
 - [手順4](#)
- [補足](#)
- [関連ページ](#)

ポート、ポート開放

ポートの定義

- [ポート](#) とは、外部とのあいだで情報をやりとりするための通りのこと。通常、一部のポートは安全を図るためにふさがれています。しかし、このままでは動画配信を見てもらうことができません。そこで必要になってくるのがポートの開放です。

ポート開放の定義

- [ポート開放](#) とは、このふさがれているポートを使用できる状態にすることです。ポートを開放することではじめて、動画を配信をしたり、鏡をしたりすることが可能となります。

ポート番号

- ポート開放するさい、何番の番号を開放するのか決めなくてはなりません。[WME](#)または[EE](#)の

初期設定では、ポート番号は **8080** 番となっていますが、変更してもかまいません。

- **1つのポートに対しては、1つのソフトウェアしか使用できません。**そのため、たとえばWMEで開放するポート番号を8080にした場合、他のポート開放が必要なソフトウェアで8080番のポートは使えないこととなります。このようなときは、別のポート番号を設定してください。
- PCには、ポートが65536個（0～65535）ありますが、すでに0～1023番までは使用されています。よって、**ポートの番号** は、とくに指定のないかぎり **1024～65535番** に設定してください。
- **ポート番号** の解説も参考にしてください。

[画面の上へ](#)

大まかな手順

- **以下のいずれか、またはすべてで** 設定する必要があります。ご自宅にルータがない場合は、3番目は不要です。
 - **Windowsファイアウォール**
 - **セキュリティソフトのパーソナルファイアウォール**
 - **ルータ**（ブロードバンドルータ）

[画面の上へ](#)

Windowsファイアウォール

ファイアウォールの例外設定

Windows XP

1. 「スタート」 「コントロール パネル」 「セキュリティセンター」 「Windowsファイアウォール」の順にクリック。
2. 「有効（推奨）」にチェックが入っていることを確認し、**「例外を許可しない」のチェックを外す**。
3. 「例外」タブをクリック。
4. ポートを使用するプログラムにチェックが入っていることを確認する。プログラムが一覧にならない場合は、「プログラムの追加」、もしくは「参照」から選択して「OK」をクリックする。
5. 「OK」をクリック。

Windows Vista

1. 「スタート」 「コントロール パネル」 「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」 「続行」の順にクリックする。
2. 「全般」タブで「有効（推奨）」にチェックが入っていることを確認する。
3. 「例外」タブに切り替える。
4. ポートを使用するプログラムにチェックが入っていることを確認する。プログラムが一覧にならない場合は、「プログラムの追加」、もしくは「参照」から選択して「OK」をクリックする。

「OK」をクリックする。

5.

画面の上へ

セキュリティソフトのパーソナルファイアウォール

- 以下では、セキュリティソフト（アンチウイルスソフト）であるウイルスバスター2010での設定方法について書いていきます。ほかのセキュリティソフトを使用している方も参考にしてください。おおよその設定方法は同じです。
1. ウイルスバスターを起動する（タスクトレイにある赤いアイコンをダブルクリックする）。
 2. 「パーソナルファイアウォール」 「設定」 「詳細設定」の順にクリックする。
 3. 「例外ルール（プログラム）」タブ 「追加」の順にクリックする。
 4. 「説明」に適切な名前を入力する。
 5. 「対象」で「指定のプログラム」が選択されていることを確認し、「参照」をクリックしてプログラムを選択する。
 6. 「設定」で「詳細設定」を選択して「追加」をクリックする。
 7. 「方向」で「受信」を、「処理」で「許可」をそれぞれ選択する。
 8. 「プロトコル」が「TCP」になっていることを確認する。
 9. 「ポート」で「指定のポート」を選択し、ポート番号を入力する。
 10. 「OK」 「OK」 「OK」 「OK」の順にクリックして画面を閉じる。

画面の上へ

ルータ（ブロードバンドルータ）

- ルータは、さまざまなものが販売されています。そのため、ここですべての種類のルータについて取り上げることはできません。
- 以下のサイトでご自身が使用するルータの機種を見つけ出し、解説のとおりに行ってみてください。とりあげられている機種が多く、しかも図説付きでたいへんわかりやすいです。
 - ポート開放方法
 - あかかげまるの何も無い部屋へようこそ
- ルータの型番が不明だという方は、以下のページが参考になります。
 - ルータメーカー型番不明調べる方法
- なお、Yahoo!BBなど、レンタルしたモデムに **ルータ機能が内蔵** されている場合があります。この場合もポートを開放する必要があります。

画面の上へ

自己診断

- ここまで済んだら、簡易TCPポートスキャンスクリプトまたはCMANポートチェックでポート

の開放ができているか試してみましょう。

- **実況配信する人** は、WMEまたはEEを立ち上げて設定後、「**エンコードの開始**」または「**開始**」をクリックすることを忘れないようにしてください。エンコードを始めた状態で調べないと、ポート開放のチェックがうまく機能しません。
- **鏡をする人**（kagami.exeを利用する人）は、実況配信者などに **接続**しないとポートスキャンが正常に機能しません。

画面の上へ

ポートの開放がうまくいかない場合

- ポート開放がうまくいかないという場合は、以下のようにしてください。

手順1

- まず、WMEまたはEEの「出力」タブのポート番号とURLのポート番号とが一致しているか、ほかのポートではどうか、確かめてみる。

手順2

- **Windows**や**セキュリティソフトのファイアウォールを一時的に無効**にして、再度ポートスキャンしてみる。成功の場合は、それらの設定に不具合があるということ。逆に不成功の場合は、手順3に従ってルータの設定を見直す。

手順3

A

- ポートスキャンが不成功だった場合、**プライベートIPアドレスが変動していないか**、以下の方法でチェックする。
1. 「スタート」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」を選択し、出てきたウィンドウで「ipconfig」と入力して「Enter」キーを押す。
 2. 「IP Address」の番号をメモし、ルータの設定画面にてプライベートIPアドレスが転送先IPアドレス（LAN側のIPアドレス）と一致しているか確認する。不一致の場合は正しく修正し、**プライベートIPアドレスをここ（外部サイト）**を見て固定化しておく。

B

- **二重ルータ**になっていないか調べ、以下のいずれかの対処をする。
 - **ここ（外部サイト）**を見る。
 - ルータのマニュアルを参照して **ブリッジモード**（片方のルータの機能を停止）にする。

手順4

- ルータの設定にもミスがなければ、[CATVや、マンションに初めから付属するインターネットサービス](#) を利用していないか確認する。前者のサービスを利用&している場合は、[グローバルIPアドレス](#) が付与されているか、ないしはオプションで利用できるか調べる（会社のHP、電話などで）。他方、後者のサービスを利用している場合は、引っ越して通常のプロバイダに加入する。

補足

- [ファイアウォールを一時的に無効にしたあとは、必ず有効に戻しておきましょう。](#)
- [配信をしたり、鏡をするためには、グローバルIPアドレスが必要](#) です。ほとんどの人は、加入プロバイダからグローバルIPアドレスが自動的に割り当てられていますが、CATVやレオパレス（[LEO-NET](#)）の場合はそうでないことがあります。
- ルータを使用している場合、プライベートIPアドレスは必ずしも固定化させる必要はありませんが、やっておいたほうが無難です。
- ポート開放がどうしてもできなかつたり、グローバルIPアドレスが割り当てられていない場合は、最終手段として[Livetube.cc](#)を使うという手があります。

[画面の上へ](#)

関連ページ

- [コメント](#)
- [URL](#)
- [セキュリティ](#)
- [WME](#)
- [よくある質問（接続）](#)

[画面の上へ](#)
